

第3期花巻市教育振興基本計画(R3～R7)「3 生涯学習の推進」 / 主な事業の実施状況

資料 1

・生涯学習の推進

＜社会教育に関する事業＞

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
1. 自主的活動の推進	(1) 多様なニーズやライフスタイルに応じた講座の開設	①生涯学習講座開催事業 【生涯学習課】 ○市民講座の開催 ・生涯学習課・まなび学園 12講座32回 延べ受講者数 497人 ・各総合支所 (大迫) 3講座 7回 延べ受講者数 162人 (石鳥谷) 5講座17回 延べ受講者数 243人 (東和) 3講座10回 延べ受講者数 174人 ○高齢者学級 ・生涯学習課・まなび学園 169回 延べ受講者数 2,602人 ・各総合支所 (大迫) 10回 延べ受講者数 417人 (石鳥谷) 7回 延べ受講者数 255人 (東和) 10回 延べ受講者数 391人 ○女性学級 ・生涯学習課・まなび学園 11回 延べ受講者数 242人 ・各総合支所 (大迫) 5回 延べ受講者数 53人 (石鳥谷) 3回 延べ受講者数 41人 (東和) 3回 延べ受講者数 30人 ○イーハートブ花巻カレッジ ・5回開催 延べ受講者数 114人(見込、うちアーカイブ受講42人) ※岩手大学、盛岡大学の教授等に講師を依頼 ○富士大学花巻市民セミナー ・6回開催 延べ受講者数 94人(うちアーカイブ受講25人) ○家庭教育支援講座 ・未就学児家庭向け 3回開催 延べ受講者数 60人 ○地域生涯学習担当者研修 ・4回開催 1回目(デジタル活用) 19人、2回目(事例発表等)10人 3回目(花巻・北上の職員交流)16人※北上市27人 4回目(意見交換会)39人	①生涯学習講座開催事業 【生涯学習課】 ○市民講座の開催 ・生涯学習課・まなび学園(13講座38回) ・各総合支所等(10講座36回) ○高齢者学級(まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和総合支所) (延べ174回開催予定) ○女性学級(まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和総合支所) (23回開催予定) ○イーハートブ花巻カレッジ (5回開催予定) ○富士大学花巻市民セミナー ・(6回開催予定) ○家庭教育支援講座 (3コース 延べ5回開催予定) ○地域生涯学習担当者研修 (3回開催予定)	①生涯学習講座開催事業 【生涯学習課】
	(2) 自発的・自主的学習活動の支援と相談体制の充実	◆令和7年度のまとめ◆ ・今年度開催の市民講座受講生から、新たに生涯学習サークルがたちあがった。また、講座受講をきっかけに既存サークルへ参加する受講者があった。 ・オンラインの活用として、富士大学花巻市民セミナーに加え、新たに今年度からイーハートブ花巻カレッジでもアーカイブ配信を実施し、幅広い世代の市民の多様なライフスタイルにあわせた学習機会を提供することができた。 ・障がい者の生涯学習の推進について、今年度当事者やご家族に対して生涯学習に関するニーズ調査を行った。その内容をふまえ、当事者が地域の生涯学習に親しみきっかけとなる取り組みを引き続き検討したい。 ・家庭教育支援講座は未就学児を持つ家庭向けのみの開催に留まったが、防災時の各家庭のルールを考える内容など、子育てに関する情報提供に努めることができた。また、市民講座として小学生とその家族を対象に、食育・調理やスポーツなどをテーマに体験活動の機会を提供し、家庭教育についても関心を高めることができた。	●令和8年度の重点● ・市民の生涯学習のきっかけづくりとなる場や学習機会の提供するため、生涯学習講座の充実を図る。 ・多様化する市民ニーズにあった学習機会の提供として、引き続きオンライン講座等の開催を行う。 ・未就学児～中学生とその家族等のほか、地域で子育てに関わりたい方を対象に、子育てに関する情報提供や家庭教育に対する関心を高めるテーマを取り上げた家庭教育支援講座を開催する。	◆令和9年度◆
	(3) 情報発信の強化	②生涯学習活動支援事業 【生涯学習課】 ○ふれあい出前講座 (登録講座数253講座) ・公共編 99講座 77回 延べ受講者数 1,731人 ・生涯学習講師編 154講座(新規講師数9名) 289回 延べ受講者数 6,123人	②生涯学習活動支援事業 【生涯学習課】 ○ふれあい出前講座 (登録講座数271講座) ・公共編 103講座(予定) ・生涯学習講師編 168講座(新規講師数13名)(予定)	②生涯学習活動支援事業 【生涯学習課】
	(4) 生涯学習関連施設の充実・利用促進			

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
		○生涯学習フェア(まなび学園祭)開催 ・展示部門・舞台発表部門他開催 延べ来場者数 1,766人 (ステージ発表 9団体 142人出場 作品展示 54団体、693人) ○まなびキャンパスカード事業 ・19施設で実施 ・延べ利用者数 11,169人 ○花巻・遠野連携「まなびキャンパスカード」事業 まなびキャンパスカード事業対象施設(19施設)に遠野市6施設を加え、両市連携して行った。 ○「はなまきまなびガイド」運用事業 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関など学習資源をHPで紹介 ○「はなまきナビ！」活用事業 はなまきナビ！を活用し、イベント情報や施設利用情報を公開 ※「はなまきナビ！」の運用はR8.1月末で終了。R8.2以降は新たに市内生涯学習施設や振興センター、体育館など施設のオンライン予約を可能とする「公共施設予約システム」へ移行し、引き続き施設利用情報について公開している。 ○各種情報発信 広報、HP、FMラジオ、有線放送及びSNS等による情報発信やマスコミへの情報提供等により、広く市民に生涯学習に関する情報提供を行った。	○生涯学習フェア(まなび学園祭)開催 ・展示部門・舞台発表部門他開催を予定 ○まなびキャンパスカード事業 ・19施設で実施 ○花巻・遠野連携「まなびキャンパスカード」事業 まなびキャンパスカード事業対象施設(19施設)に遠野市6施設を加え、両市連携して行う。 ○「はなまきまなびガイド」運用事業 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関など学習資源をHPで紹介 ○公共施設予約システム 施設利用情報を公開 ○各種情報発信 広報、HP、FMラジオ、有線放送及びSNS等による情報発信やマスコミへの情報提供等により、広く市民に生涯学習に関する情報提供を行う。	
		◆令和7年度のまとめ◆ ・ふれあい出前講座については、9人の新規講師登録があった。また、生涯学習講師編及び公共編ともに、コロナ5類移行で実績が増加した昨年度と同様に開催回数・受講者数が増加し、市民の主体的な学習活動の促進につながった。 ・生涯学習フェアでは、昨年に引き続き、記念講演や体験コーナーを実施。会館敷地内へのキッチンカー出店のほか赤十字奉仕団による炊き出し訓練の実演や試食も行なわれ、入場者との交流をさらに生み出せるような内容となった。	●令和8年度の重点● ・生涯学習講師の登録への声かけに努めるとともに、ふれあい出前講座の活用をはじめとした生涯学習に関する多様な情報発信等について、より幅広い市民に対して行う方法を検討する。 ・市民の自主的な生涯学習活動を支援し、活動の成果を発表する場として、生涯学習フェアを開催する。また、障がいの有無にかかわらず誰でも取り組むことができる生涯学習体験コーナーを設置する予定。	◆令和9年度◆
		③視聴覚教育推進事業 【花巻図書館】 ○視聴覚教育ライブラリー 学校、官公署及び生涯学習を行う団体へ視聴覚機材および教材の貸出 (年間上映回数250回、観覧者数6,326人) ○16ミリ映写機操作技術講習会の開催(年1回) (1回実施、受講者4人) ○映画会の開催 ・夏休み・冬休みこども映画会の開催 (参加者延べ600人) ・花巻図書館 こども映画会(11回開催 参加者222人) 読書週間等映画会(4回開催 参加者99人) 休日ほっと映画会(11回開催 参加者121人) バリアフリー映画会(1回開催 参加者36人) ・大迫図書館 映画会(5回開催 参加者46人) 学童出前映画会(0回開催) ・石鳥谷図書館 土曜わくわくタイム(42回開催 参加者255人) 日曜映画会(5回開催 参加者41人) ・東和図書館 土曜親子映画会(10回開催 参加者203人) 日曜くつろぎの映画会(12回開催 参加者173人)	③視聴覚教育推進事業 【花巻図書館】 ○視聴覚教育ライブラリー 学校、官公署及び生涯学習を行う団体へ視聴覚機材および教材の貸出 ○16ミリ映写機操作技術講習会の開催(年1回) (1回実施、受講者5名(うち再受講者1名)) ○映画会の開催 ・夏休み・冬休み・春休みこども映画会の開催 ・花巻図書館 こども映画会(毎月1回)、読書週間等映画会(年3回)、休日ほっと映画会(毎月1回)、バリアフリー映画会(年1回) ・大迫図書館 おおはさま映画会、学童出前映画会 ・石鳥谷図書館 土曜わくわくタイム(毎週1回)、日曜映画会(年4回) ・東和図書館 土曜親子映画会(毎月1回)、日曜くつろぎの映画会(毎月1回)	③視聴覚教育推進事業 【花巻図書館】
		◆令和7年度のまとめ◆ 映画会の会場を工夫したり、団体に周知を行うなど、視聴覚教育ライブラリーの情報提供を行い利用者の確保に努めた。	●令和8年度の重点● 引き続き映画会等の事業を実施する。 積極的に視聴覚教育ライブラリーの情報提供を行い、利用促進を図る。	◆令和9年度◆

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
		④生涯学習施設整備事業 【生涯学習課】 生涯学習施設の維持管理を実施 ○中乙生活改善センター整備 ・R7耐震改修工事 ○古川地区集落センター整備【新規】 ・R7耐震改修工事実施設計業務	④生涯学習施設整備事業 【生涯学習課】 生涯学習施設の維持管理を実施 ○生涯学園都市会館整備 ・情報通信機器設置業務【新規】 ○古川地区集落センター整備 ・R8耐震改修工事 ○石鳥谷生涯学習会館整備 ・講堂照明器具等改修工事実施計画業務【新規】	④生涯学習施設整備事業 【生涯学習課】
		◆令和7年度のまとめ◆ ・中乙生活改善センター R7耐震改修工事を実施 ・古川地区集落センター R7耐震改修工事実施設計業務を実施	●令和8年度の重点● ・生涯学園都市会館 情報通信機器設置業務を実施 ・古川地区集落センター R8耐震改修工事を実施 ・石鳥谷生涯学習会館 講堂照明器具等改修工事実施計画業務を実施	◆令和9年度◆
		⑤読書活動推進事業 【花巻市立図書館】 ○ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業の実施 ・5か月児と1歳6か月児を対象に絵本のプレゼント (5か月児参加者 386人、1歳6か月児参加者 362人) ・フォローアップ事業として絵本の読み聞かせ等のイベントを実施 (参加者24人) ○おはなし会の実施 (110回開催 延べ参加者数 1,572人) ・花巻図書館(36回開催 延べ参加者数 762人) ・大迫図書館(17回開催 延べ参加者数 244人) ・石鳥谷図書館(43回開催 延べ参加者数 306人) ・東和図書館(14回開催 延べ参加者数 260人) ○みんなでライブラリーの開催 (2回開催、参加者585人) ○読書活動推進スキルアップ講座の開催 (2回開催 参加者16人) ○読書おもいで帳の発行 (発行者数 839人)	⑤読書活動推進事業 【花巻市立図書館】 ○ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業の実施 5か月児と1歳6か月児を対象に絵本のプレゼント、フォローアップ事業として絵本展や読み聞かせ等のイベントを開催予定 ○おはなし会の実施 ・花巻図書館 0～2歳、3～4歳、5～6歳、小学校低学年対象 毎月各1回 ・大迫図書館 毎月1回 ・石鳥谷図書館 毎週1回 ・東和図書館 毎月1回 ○みんなでライブラリーの開催 (1回開催) ○読書活動推進スキルアップ講座の開催 (2回開催) ○読書おもいで帳の発行	⑤読書活動推進事業 【花巻市立図書館】
		◆令和7年度のまとめ◆ ブックスタート事業(絵本と読み聞かせ体験のプレゼント)を行い、本に触れる機会をつくった。また、イベントや講座を開催し、読書活動を推進した。 読書おもいで帳の発行について、対象者を拡大し、図書館利用促進を図った。	●令和8年度の重点● 引き続き、おはなし会や講座等の事業を実施する。 第四次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、読書おもいで帳の発行など、読書への関心を高める取組を進め、読書習慣の定着を図る。	◆令和9年度◆
		⑥図書館整備事業 【新花巻図書館計画室】 新花巻図書館整備については、令和7年5月19日に開催された第6回教育委員会議定例会で「新花巻図書館整備基本計画」が議決された。 新花巻図書館整備基本・実施設計業務委託の業者選定にあたっては、公募プロポーザルにより公開プレゼンテーションを実施し、業者を選定した上で、令和8年1月7日付けで業務委託契約を締結した。 建設用地取得に向けては、土地の現況測量及び用地測量を実施し、令和7年12月に測量を完了し、おおむねの取得範囲を確認した。これを受けて、令和8年1月20日開催の教育委員会議において、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第28条第2項の規定に基づき、花巻駅前の土地(約3,704.12平方メートル)を教育財産として取得することについて市長に申し出ることを議決した。 市は同日付けで教育委員会からの同条第2項による申し出を受け、1月21日付けで土地所有者であるJR東日本に対し、土地取得に係る正式な協議の依頼を行った。	⑥図書館整備事業 【新花巻図書館整備室】 令和7年度から継続し、新花巻図書館整備基本・実施設計業務を実施します。また有識者からの専門的アドバイスを得ながら資料購入と司書育成を進めるとともに、先進図書館の視察や展示会参加により最新の運営事例やシステム情報を収集します。同時に、整備情報の発信ウェブサイト運営し整備情報の発信に努めます。 建設用地取得に向けては、譲渡面積確定に必要な登記測量用図面作成、地質調査を実施し、建設用地確定後にJR東日本と価格協議に向け不動産鑑定を実施します。併せて、用地取得に係る事務手続きの委託や建設用地内にある既存建物解体工事実施設計を行います。 また、基本計画に基づき駐車場などの外構工事実施設計業務を実施します。	⑥図書館整備事業 【新花巻図書館整備室】
		◆令和7年度のまとめ◆ ・第6回教育委員会議定例会で「新花巻図書館整備基本計画」が議決(R7.5.19) ・新花巻図書館整備基本・実施設計業務委託契約の締結(契約期間R8.1.7～R9.3.19) ・建設用地取得に向けた測量等作業の実施(～R7.12.4) ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第28条第2項に基づく教育委員会議での財産取得申出の議決(R8.1.20) ・土地取得に係る土地所有者(JR東日本)への正式な協議依頼(R8.1.21)	●令和8年度の重点● ・新花巻図書館整備基本・実施設計業務の実施(～R9.3.19) ・新図書館の資料購入の検討 ・司書育成 ・整備情報の発信 ・既存建物解体工事実施設計業務の実施 ・建設用地購入に向け、測量調査及び不動産鑑定評価業務の実施 ・用地取得に係る事務手続きの委託を実施 ・外構工事実施設計業務の実施	◆令和9年度◆

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
		⑦図書館改修事業 【花巻市立図書館】 	⑦図書館改修事業 【花巻市立図書館】 	⑦図書館改修事業 【花巻市立図書館】
2. 青少年健全育成の推進	(1) 健全育成活動の推進	①青少年活動推進事業 【生涯学習課】 ○はなまき！おもしろ探検隊 ・小学3～6年生を対象 5回開催 延べ受講者数 104人 ・ 高校生ボランティアリーダー ボランティアリーダー研修 2回開催 延べ受講者数 18人 探検隊事業への参加 5回開催 延べ参加者数57人 ○青少年関連団体支援事業 青少年団体への補助を実施(ガールスカウト岩手県第5団、花巻青少年少女発明クラブ、花巻市青少年育成市民会議) ○20歳のつどい開催 ・式典の部と記念行事の部の2部構成で実施 ・対象者 936人(男性490人、女性446人)※外国人も含む ・参加者 672人(男性356人、女性316人) 出席率 71.79% ◆令和7年度のまとめ◆ ・はなまき！おもしろ探検隊では、昨年荒天により中止したキャンプを2年ぶりに開催した。また、1日通してのプログラム回数を増やし、体験活動の充実に寄与することができた。高校生ボランティアリーダーの活動では、プログラム前後の打ち合わせや振りかえりを定例として、主体的に事業の企画運営に携わるきっかけづくりに努めた。 ・20歳のつどいは、昨年度と同規模で、式典と実行委員会による記念行事の開催形式により開催した。当日の様子をYouTube Liveで生配信し、ご家族等にも配慮して実施することができた。 ・実行委員募集時期を前倒しするなど、継続委員とコミュニケーションを取り、持続的な活動展開につながるよう工夫に努めた。実行委員の人数は減少傾向にあるが、委員自ら様々な工夫を凝らして、事業の企画運営を行うことができた。	①青少年活動推進事業 【生涯学習課】 ○はなまき！おもしろ探検隊 ・小学3～6年生を対象 5回開催 ・ 中高校生ボランティアリーダー研修 2回開催(中学生に対象拡大) ○青少年体験活動(中学生対象)【新規】 部活動の地域展開に伴い、部活動に代わる活動へつなげるため講座等を開催(体験講座の開催、ボランティア活動の機会の提供) ○青少年関連団体支援事業 青少年団体への補助を実施(ガールスカウト岩手県第5団、花巻青少年少女発明クラブ、花巻市青少年育成市民会議) ○20歳のつどい開催 ・式典の部と記念行事の部の2部構成で実施予定 ・対象者約1,000人 ※外国人も含む ●令和8年度の重点● ・はなまき！おもしろ探検隊では、参加者である小学生の現状や特性に応じたキャンプ等の体験活動による健全育成を行うほか、 これまで高校生を対象としてきたボランティアリーダーを中学生まで拡大し、ボランティアリーダーがより主体的に事業の企画運営に携わることで活躍できる場を展開する。 ・部活動に代わる活動機会として、市内中学生を対象に様々な体験講座(レクやものづくりなど)を実施する。また、ボランティア活動に取り組みたいと考える中学生に対して活動の機会を提供する。 ・「20歳のつどい」については、引き続き会場を文化会館として、式典と実行委員会による記念行事の開催形式で行う。当日の様子は、YouTube Liveで生配信する。実行委員会活動についても、引き続き実行委員と密にコミュニケーションを取り工夫をする。	①青少年活動推進事業 【生涯学習課】 ◆令和9年度◆

<生涯学習に関連する事業>

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
2. 青少年健全育成の推進	(1) 青少年の非行防止	①少年センター運営事業 【市民生活総合相談センター】 ○少年センター運営事業 少年補導委員による街頭補導活動を実施し少年の非行防止に努めた。 ・少年補導委員84名による街頭補導活動を実施した。 ・月1～2回の定期活動のほか長期休業期間や祭事などの各種行事に合わせて補導活動を実施した。 ◆令和7年度のまとめ◆ ・少年補導委員の街頭補導活動回数は、のべ296回、従事人数はのべ632人となり、コロナ禍以前の活動状況に戻った。 ※令和7年度の少年補導委員数は84人36班体制。	①少年センター運営事業 【市民生活総合相談センター】 ○少年センター運営事業 ・街頭巡回や啓発活動により少年非行の未然防止と早期発見に努めるため、次の事項を実施する。 ①街頭活動～少年補導委員による街頭補導活動、警察署員との巡回活動 ②環境点検活動～不健全図書館の販売状況と自動販売機設置状況調査 ③関係機関団体との連携活動～県少年センター連絡協議会や関係機関団体との会議や研修会等への参加及び啓発活動の実施 ●令和8年度の重点● ・街頭活動の継続実施	①少年センター運営事業 【市民生活総合相談センター】 ◆令和9年度◆

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
3. 国際化の推進	(1) 国際理解の醸成	①国際都市推進事業 【国際交流室】 ○国際フェア開催事業 12月13日に国際フェアINIはなまきを開催し、青少年海外派遣成果発表や外国人市民による「外国紹介・交流体験」「イングリッシュルーム」、ホッツスプリングス市での展示を再現した「ミニおもちゃ美術館」、「世界の絵本読み聞かせ」、米国発祥「ビックルボール」体験などを実施、758人が参加	①国際都市推進事業 【国際交流室】 ○国際フェアの開催 国際フェアINIはなまきを開催(12月12日なはんプラザ)	①国際都市推進事業 【国際交流室】
	(2) 国際都市化に向けた環境づくり	○市民語学講座等開催事業 多文化共生サロン5回(延べ受講者数81人)、市民語学講座2講座各8回(延べ受講者数175人)、日本語講座10回(延べ受講者数84人)、日本語学習支援ボランティア養成講座5回(延べ受講者数10人)、生活講座2回・日本文化体験講座2回(延べ受講者数77人)	○講座等の開催 多文化共生サロン5回、市民語学講座各8回(中国語、ドイツ語、英語)、日本語講座10回(※このほか、市の後援団体「ステップ」が毎週日曜日に開催)、生活講座2回、日本文化講座2回、日本語学習支援ボランティア養成講座5回	◆令和9年度◆
		◆令和7年度のまとめ◆ ベトナム、ミャンマー、米国、オーストリア、韓国の5か国の文化をテーマに多文化共生サロンを実施したほか、2言語(英語・中国語)の語学講座を実施。また、日本語講座や日本語学習支援ボランティア養成講座、生活講座(ゴミの分別・減量化、消火訓練・AED講習)、日本文化講座(書道、ひなまつり)、国際フェアでの外国人市民による外国紹介・交流体験などを実施し、市民の国際理解及び多文化共生への理解の推進に資することができた。	●令和8年度の重点● 国際フェアや市民語学講座、多文化共生サロン、日本語講座等の事業を実施し、市民の国際理解及び多文化共生への理解を推進する。	
	(3) 国際交流の推進	②国際姉妹都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○青少年海外派遣研修事業 ホッツスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村へ市内中学生24人、教員等4人を派遣 ○海外青少年受入事業・市民等受入事業 ・ホッツスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市から、中学生35人教員等6人を受入れ ・花巻まつりに合わせて来訪したホッツスプリングス市民訪問団(14人)を受入れ ○ベルンドルフ市60周年記念事業 10月8日～15日にベルンドルフ市との友好都市提携60周年を記念して市民ツアーを実施し、市民訪問団(公式9人一般9人)がベルンドルフ市で開催された記念式典に参加	②国際姉妹都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○青少年海外派遣研修事業 ホッツスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村へ市内中学生等を派遣 ○海外青少年受入事業・市民等受入事業 ホッツスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村からの中学生等の受入れ ・花巻まつりに合わせて来訪するホッツスプリングス市民訪問団の受入れ ○ラットランド市40周年記念事業 10月6日～11日にラットランド市との姉妹都市提携40周年記念市民ツアーを実施し、ラットランド市で開催される記念式典に参加	②国際姉妹都市等交流推進事業 【国際交流室】
		◆令和7年度のまとめ◆ 中学生等を相互に派遣・受入れ、また、花巻まつりに合わせて来訪するホッツスプリングス市民訪問団を受入れすることにより、国際姉妹都市等との交流を推進することができた。また、ベルンドルフ市との友好都市提携60周年記念事業を実施し、これまでの交流を振り返るとともに今後の交流継続について再確認することができた。	●令和8年度の重点● 青少年の海外派遣や海外からの青少年受け入れによる交流事業、並びにラットランド市との姉妹都市提携40周年記念事業を実施し、姉妹都市等との交流を推進する。	◆令和9年度◆
	(4) 国内交流の活性化	③国内友好都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○国内友好都市交流事業・青少年交流事業 ・国内友好都市の小学生を対象とした平塚・花巻交流の森での自然体験交流事業を8月6～8日に実施。十和田市、平塚市、花巻市の小学生計49人が参加 ・市民ツアー(平塚市7/5・6平塚七夕見学18人・郷土芸能派遣※幸田神楽13人・随行等3人、十和田市10/25訪問27人・随行等2人・11/15受入39人・随行等2人)を実施 ・わんこそば大会(2/11)で平塚市から織り姫等2人、十和田市から食土・応援団7人を受入れ、レディース駅伝(10/5)に平塚市陸上部8人來花	③国内友好都市等交流推進事業 【国際交流室】 ○国内友好都市交流事業・青少年交流事業 ・青少年自然体験交流事業を実施(8/5～8/7) ・市民ツアー(7/4・5平塚七夕見学、十和田市10月下旬訪問・11月中旬受入予定)を実施 ・わんこそば大会(2/11)での友好都市からの来訪者受入れ対応	③国内友好都市等交流推進事業 【国際交流室】
		◆令和7年度のまとめ◆ 自然体験交流事業や市民ツアーなどを実施し、国内友好都市との友好を深めることができた。また、昨年度同様、情報誌「ひと花」を発行し、友好都市の情報を広く市民に発信することができた。	●令和8年度の重点● 市民ツアーや小学生を対象とした自然体験交流事業などの実施により、友好都市との交流を推進する。	◆令和9年度◆

・スポーツの振興
 <社会教育に関する事業>

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
1. 生涯スポーツの推進	(1) 生涯スポーツ活動の推進	①地域スポーツ推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ・レクリエーション指導者の配置 ・スポーツ指導員 1人、スポーツ推進委員 39人、地域スポーツ普及員 334人 ○スポーツ教室・イベント等の開催 ・早起きマラソン(5月11日～10月13日) ・早起きマラソン50周年記念事業(11月29日) ・ニュースポーツ交流大会(2月15日) ・鉛温泉スキー場イベント(スキー場開き:12月23日、スキーの日:1月11日) スノースポーツフェスティバル(2月15日) ◆令和7年度のまとめ◆ ・スポーツ・レクリエーション指導員を配置し、だれでも親しめるニュースポーツ等の普及に努めた。 ・市民の健康増進と体力づくりを図るため、早起きマラソン、ニュースポーツ交流大会やスポーツ教室などのイベント等を開催した。 ・早起きマラソン開設50周年を記念して、記念誌の発行及び記念式典を開催した。	①地域スポーツ推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ・レクリエーション指導者の配置 ・スポーツ指導員 1人、スポーツ推進委員 39人、地域スポーツ普及員 353人 ○スポーツ教室・イベント等の開催 ・早起きマラソン ・ニュースポーツ交流大会 ・鉛温泉スキー場イベント(スキー場開き、スキーの日イベント) ・スノースポーツフェスティバル ●令和8年度の重点● ・スポーツ・レクリエーション指導者を配置し、だれでも親しめるニュースポーツ等の普及を図る。 ・市民の健康増進と体力づくりを図るため、早起きマラソン、ニュースポーツ交流大会やスポーツ教室などのイベント等を開催する。	①地域スポーツ推進事業 【スポーツ振興課】 ◆令和9年度◆
		②地域スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ団体等の支援 補助金交付(花巻市スポーツ協会、大迫町スポーツ協会、石鳥谷町スポーツ協会、東和町スポーツ協会、スポーツ少年団本部) ○総合型地域スポーツクラブの活動支援 補助金交付(インボルブ花巻) ◆令和7年度のまとめ◆ ・各団体へ補助金を交付し、地域(生涯)スポーツの振興が図られた。 ・総合型地域スポーツクラブの活動支援を図るため、補助金を交付した。	②地域スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ協会が実施する各種事業への補助 補助金交付(花巻市スポーツ協会、大迫町スポーツ協会、石鳥谷町スポーツ協会、東和町スポーツ協会) ○スポーツ少年団本部が実施する事業への補助 補助金交付(花巻市スポーツ少年団本部) ○総合型地域スポーツクラブ活動支援 補助金交付(市内を拠点に活動する総合型地域スポーツクラブ) ●令和8年度の重点● ・各団体へ補助金を交付し、地域(生涯)スポーツの振興を図る。 ・総合型地域スポーツクラブへ補助金を交付し、活動を支援する。	②地域スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ◆令和9年度◆
		①競技スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○全国大会等出場支援 補助金交付(小学生36件、中学生109件、高校生12件、大学生9件、一般7件、計173件) ○県民スポーツ大会出場支援 花巻代表選手の延べ参加料 513人、交通費 566人、宿泊費 79人 ○スポーツ大会開催支援 ・早起き野球リーグ(5月～8月)、岩手県高校駅伝(10月16日)、ふれあいソフトボール大会(5月3・4日)、全国中学生ハンドボールクラブカップ2025(8月5日～8日)、第30回全日本レディースソフトボール大会(9月6日～8日) ・イーハトーブレディース駅伝(10月5日)、イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会(4月27日) ○専門の競技指導者及び選手の養成・確保 指導者講習会、スポーツ大会開催への補助、大会用備品購入 ◆令和7年度のまとめ◆ ・全国大会等出場への補助金の交付、市内で開催するスポーツ大会開催に対する補助金の交付を通じて競技スポーツの振興に努めた。 ・指導者及び選手の養成のため、指導者講習会、スポーツ大会開催への補助を行ったほか、大会開催に必要な備品を購入した。	①競技スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ○全国大会等出場支援 全国等のスポーツ大会に出場するチーム・選手等に対する補助 ○県民スポーツ大会出場支援 花巻代表選手の参加料、交通費、宿泊費の補助 ○スポーツ大会開催支援 ・早起き野球リーグ、ふれあいソフトボール大会、全国中学生ハンドボールクラブカップ2026への補助 ・イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会の開催 ・はなまきドリーム・バレーボール(仮称)の開催 ○専門の競技指導者及び選手の養成・確保 指導者講習会、スポーツ大会開催への補助、大会用備品購入、各種教室の開催・支援 ●令和8年度の重点● ・全国大会等出場への補助金の交付、市内で開催するスポーツ大会開催に対する補助金の交付を通じて競技スポーツの振興を図る。 ・指導者及び選手の養成のため、指導者講習会、スポーツ大会開催への補助を行う。	①競技スポーツ支援事業 【スポーツ振興課】 ◆令和9年度◆
2. 競技スポーツの推進	(1) 競技レベルの向上			

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
3. 大規模スポーツ大会の開催	(1) スポーツイベント・大規模大会の誘致 (2) 合宿の誘致 (3) 大規模スポーツ施設の充実	①スポーツ大会・合宿誘致推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツコンベンションビューローへの支援 大規模大会誘致・開催支援、スポーツ合宿誘致・支援、スポーツイベント招致・観戦支援 ○スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助 スポーツコンベンションビューロー事務局職員人件費等(2名分) ○スポーツ合宿支援事業補助 県外の大学等団体が市内スポーツ施設及び宿泊施設を利用する合宿に対する補助(3件):東京経済大学硬式野球部(8月1日～7日:58名)、高千穂大学硬式野球部(8月11日～17日:51名)、国士舘大学剣道部(8月18日～24日:157名) ○ローイング合宿受入環境整備 いわて合宿相談会(12月14日～15日:ビューロー職員2名対応) ローイング日本代表合宿(7月22日～9月4日:選手等13名) ◆令和7年度のまとめ◆ ・はなまきスポーツコンベンションビューローへの補助金の交付によりスポーツ大会・合宿誘致の推進に努めた。 ・市内スポーツ施設及び宿泊施設を活用した大学3件の合宿について補助金を交付した。 ・ローイング日本代表の強化合宿を受け入れるため環境整備に努めた。	①スポーツ大会・合宿誘致推進事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツコンベンションビューローへの支援 大規模大会誘致・開催支援、スポーツ合宿誘致・支援、スポーツイベント招致・観戦支援 ○スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助 スポーツコンベンションビューロー事務局職員人件費等(2名分) ○スポーツ合宿支援事業補助 県外の大学等団体が市内スポーツ施設及び宿泊施設を利用する合宿に対する補助 ○ローイング合宿受入環境整備 合宿誘致PR等 ●令和8年度の重点● ・はなまきスポーツコンベンションビューローへ補助金の交付によりスポーツ大会・合宿誘致の推進を図る。 ・引き続き、ローイング競技の合宿を受け入れるための環境を整備する。	①スポーツ大会・合宿誘致推進事業 【スポーツ振興課】 ◆令和9年度◆
		②スポーツ施設環境整備事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ施設改修・整備 ・総合体育館(本館冷房用チャルユニット更新) ・市民体育館(煙突解体工事及び監理業務) ・日居城野テニスコート(人工芝張替工事) ・日居城野水辺公園(通路等改修) ・鉛温泉スキー場(リフトサイリスタ盤更新) ※債務負担0円 ・和田プール(塗装等の改修工事) ・湯口野球場、矢沢野球場、北湯口野球場、大迫体育館、B&G海洋センター(トイレ洋式化) ・東和相撲場(解体撤去工事) ・石鳥谷ふれあい運動公園(管理棟及び北側トイレ改修工事) ※R6繰越 【地域づくり課】 【大迫総合支所地域振興課】 ◆令和7年度のまとめ◆ ・スポーツ施設の快適な利用環境を整えるため、改修・整備を行った。	②スポーツ施設環境整備事業 【スポーツ振興課】 ○スポーツ施設改修・整備 ・市民体育館(屋根外壁改修工事実施設計) ・石鳥谷ふれあい運動公園(事務所棟屋根等改修工事実施設計) ・鉛温泉スキー場(リフトサイリスタ盤更新) ※債務負担 ・鉛温泉スキー場(高圧受変電設備統合) ※債務負担0円 ・卸センター体育館(壁床改修及び照明設備更新) ・高村ドーム(屋根等改修工事実施設計) ・日居城野運動公園陸上競技場(改修工事実施設計) ・笹間野球場(高圧受電設備更新) ・大迫野球場(トイレ改修工事実施設計及び改修工事) ●令和8年度の重点● ・スポーツ施設の快適な利用環境を整えるため、改修・整備を行う。	②スポーツ施設環境整備事業 【スポーツ振興課】 【地域づくり課】 【大迫総合支所地域振興課】 ◆令和9年度◆
		③女子野球タウン推進事業費 【スポーツ振興課】 ○女子野球大会の開催支援 ・女子野球タウン周知のぼり、横断幕製作 ○技術の普及推進と野球人口拡大 ・少年少女野球教室及び交流戦(10月19日) ○女子野球に関する情報収集及び発信 ・女子野球タウン認定先進地視察(広島県廿日市市) ・女子野球タウンサミット(東京都) ○女子野球選手のプレー環境向上 ・花巻球場女子野球選手用トイレ改修実施設計及び改修工事 ・花巻球場内野トイレ及び選手控室等改修工事実施設計 ◆令和7年度のまとめ◆ ・技術の普及推進と野球人口拡大を図るため、少年少女野球教室及び交流戦を開催した。 ・女子野球選手のプレー環境向上のため、花巻球場の女子野球選手用トイレ改修実施設計及び改修工事のほか、内野トイレ及び選手控室等改修工事実施設計を行った。	③女子野球タウン推進事業費 【スポーツ振興課】 ○女子野球大会の開催支援 ・女子硬式野球イーハートブはなまき大会開催支援 ○技術の普及推進と野球人口拡大 ・野球教室や交流戦等を行う女子野球タウンフェスティバル(仮称)の開催 ・女子野球タウン認定先進地視察 ・女子野球大会に出場するチーム・選手に対する補助 ○女子野球選手のプレー環境向上 ・花巻球場照明塔更新工事実施設計 ・花巻球場ラバーフェンス等改修工事実施設計 ・花巻球場内野トイレ等改修工事 ※債務負担 ・花巻球場選手控室等改修工事 ※債務負担 ●令和8年度の重点● ・技術の普及推進と野球人口拡大を図るため、女子野球タウンフェスティバル(仮称)を開催する。	③女子野球タウン推進事業費 【スポーツ振興課】 ◆令和9年度◆

・芸術文化の振興

<社会教育に関する事業>

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
1. 芸術文化活動の推進	(1) 芸術文化に触れる機会の提供	①芸術文化推進事業 【生涯学習課】 ○小学生のためのアートセミナー開催 夏:「ウッドサンキャッチャーとお魚コースター」 (参加者数 117人) 冬:「トートバック色付け体験」 (参加者数56人) ○花巻市民芸術祭 花巻、大迫、石鳥谷、東和の4地区で合計30事業を実施 ○花巻市芸術協会事業補助金交付 ○芸術文化全国大会等出場補助金 2校5部門に交付 ◆令和7年度のまとめ◆ ・「小学生のためのアートセミナー」は、応募者多数の状況に対応するため、講師にも相談して定員を増やして実施し、多くの方に参加の機会の提供ができた。 ・市民芸術祭については、計画通りに事業が実施された。花巻地区の展示部門では、「チャレンジライブ」として若者に大ホールのステージを利用する機会を提供し、高校のダンス部や演劇、音楽など多彩な発表の場となった。また文化会館前ロータリーではキッチンカーに出店いただき、集客効果があった。	①芸術文化推進事業 【生涯学習課】 ○小学生のためのアートセミナー開催 夏:型染め体験(定員120人予定) 冬:題材未定 ○花巻市民芸術祭 花巻、大迫、石鳥谷、東和の4地区で合計30事業を予定 ○花巻市芸術協会事業補助金交付 ○芸術文化全国大会等出場補助金 ●令和8年度の重点● ・「小学生のためのアートセミナー」については、児童の創作意欲を引き出すテーマを選定し、かつ受講希望者の受入を可能か限り拡充して実施する。 ・市民芸術祭については、今年度も計画通りの事業実施を目指し、花巻市民芸術祭花巻地区展示部門の開催に合わせ、市民団体の舞台発表の場やキッチンカー出店を設けることにより、より豊かに芸術文化に触れる環境を作りつつ市内芸術団体等の発表活動のPRを行う。	①芸術文化推進事業 【生涯学習課】 ◆令和9年度◆
	(2) 芸術文化活動の支援	②芸術文化推進事業 【文化会館】 ○文化会館自主事業 ・ホール公演等 12事業(演劇2公演、音楽6公演、落語1公演、映画3上映) ・学校団体鑑賞 4事業 ・市民向け事業 3事業(ホールでピアノ、チャレンジライブ、バックヤードツアー) ・学校アウトリーチ(小学校3校) ◆令和7年度のまとめ◆ ・大ホール公演では、自衛隊音楽隊をはじめとする音楽やメジャーアーティストによる音楽ライブ、ヴァイオリニストと作曲家との合唱や神楽の披露などを行い、若い世代も交えて様々な分野から幅広い年齢層へ公演を楽しんでもらう機会となった。 ・小学校にプロの音楽家を派遣するアウトリーチ事業では、ホールでの鑑賞とは違い、音楽家と近い距離で身体を動かしたり体験しながら、音楽に親しんでもらった。 ・令和3年度から始めたグランドピアノの無料開放を継続して実施したほか、市民を対象としたバックヤードツアーや、エントランスピアノの週末開放など、多くの市民に文化会館に親しんでもらう取り組みを実施することができた。	②芸術文化振興事業 【文化会館】 ○文化会館自主事業 ・ホール公演等 11事業(演劇1公演、バレエ1公演、音楽等6公演、落語1公演、映画2上映) ・学校団体鑑賞 4事業 ・市民向け事業 3事業(ホールでピアノ、チャレンジライブ、バックヤードツアー) ・エントランスピアノの週末開放 ・学校アウトリーチ(小学校6校、中学校2校) ●令和8年度の重点● ・大ホール公演については、コンサート等鑑賞のほか地域共演を積極的に組み入れていく。バックヤードツアーやチャレンジライブなど体験プログラムにより、多くの市民に文化会館の機能や可能性について考えを深めながら、有効に活用してもらう取り組みを行っていく。 ・引き続きグランドピアノの無料開放を実施するほか、エントランスピアノの週末開放、大ホール音響体験映画上映会の開催など、ホールの特色を活かした事業を継続的に実施していく。 ・工事休館に伴い、学校アウトリーチの機会を増やすことで、文化会館以外の場でプロの芸術家と音楽に親しむ体験を広げる。	②芸術文化振興事業 【文化会館】 ◆令和9年度◆
		③学校文化活動事業 【生涯学習課】 ○花巻市民芸術祭花巻地区展示部門「小中学生作品展」 11月1日～11月3日開催 ◆令和7年度のまとめ◆ ・市民芸術祭小中学生作品展では概ね例年どおりの出品数となった。出品目録について従来の紙の配置に加え、会場内とホームページ上にQRコードを表示し、電子での提供を行った。	③学校文化活動事業 【生涯学習課】 ○花巻市民芸術祭花巻地区展示部門「小中学生作品展」 11月1日～11月3日開催 ●令和8年度の重点● ・小中学生の作品展示に合わせて、市内小中学校の吹奏楽部などの舞台発表の場を設け、児童生徒の文化活動の成果を広く市民に公開する機会を創出することにより、発表の喜びを体感してもらい芸術文化活動への意欲向上につなげていく。	③学校文化活動事業 【生涯学習課】 ◆令和9年度◆

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けのご意見等
		④美術普及活動推進事業 【萬鉄五郎記念美術館】 ○萬鉄五郎祭実行委員会主催事業 ・萬鉄五郎祭顕彰式典 5月4日(日)参加40名 ○児童等写生会及び作品展示会 ・写生会 4月27日(日)9時～12時 応募51名 ・作品展示 5月1日(木)～5月18日(日) 東和図書館 ○民間団体が実施する事業に対する支援 ・美術研修会 ・看視ボランティアの養成・研修のための他美術館等を視察 ・萬生誕祭、鉄人忌の後援 ◆令和7年度のまとめ◆ 萬鉄五郎を顕彰する式典「萬鉄五郎祭」を開催し、来賓のほか土澤アートクラフトフェアにいらした不特定多数の方々にも参加いただくことができた。また児童等が芸術文化に親しめる写生会も開催した。	④美術普及活動推進事業 【萬鉄五郎記念美術館】 ○萬鉄五郎祭実行委員会主催事業 ・萬鉄五郎祭顕彰式典 5月3日(日・祝)参加者37名 ○児童等写生会及び作品展示会 ・写生会 4月26日(日)9時～12時 応募53名 ・作品展示 5月1日(金)～5月17日(日) 東和図書館 ○民間団体が実施する事業に対する支援 ・美術研修会 ・看視ボランティアの養成・研修のための他美術館等を視察 ・萬生誕祭、鉄人忌の後援 ●令和8年度の重点● 郷土の先人である萬鉄五郎を顕彰する事業として、市民の芸術文化に対する関心や親しみを向上させるため、美術活動に取り組む機会を提供する。	④美術普及活動推進事業 【萬鉄五郎記念美術館】 ◆令和9年度◆
		⑤萬鉄五郎美術館等整備事業 【萬鉄五郎記念美術館】 萬鉄五郎記念美術館 全館照明LED化(令和7年11月10日～令和8年2月20日休館) ◆令和7年度のまとめ◆ 令和7年10月16日～令和8年2月6日業務委託契約締結 令和8年2月6日で完了	⑤萬鉄五郎美術館等整備事業 【萬鉄五郎記念美術館】 萬鉄五郎記念美術館 外壁塗装工事実施設計業務 ●令和8年度の重点● 萬鉄五郎記念美術館外壁塗装工事実施設計業務	⑥萬鉄五郎美術館等整備事業 【萬鉄五郎記念美術館】 ◆令和9年度◆
		①先人顕彰推進事業 【生涯学習課】 ○先人ギャラリー展 ・テーマ「金田一國士(くにお)・勝定・菊池忠太郎と軽便鉄道」 文化会館、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館 ①令和8年2月16日(月)～令和8年3月2日(月)花巻市文化会館、大迫図書館 ②令和8年3月4日(水)～令和8年3月16日(月)石鳥谷図書館、東和図書館 ◆令和7年度のまとめ◆ ・先人ギャラリーについては、今年度の花巻市民劇場が軽便鉄道を取り上げた作品であったことから、軽便鉄道事業を通じて当市の近代開発に寄与した先人を紹介するとともに花巻市民劇場への理解も深め、相乗効果が達成できた。	①先人顕彰推進事業 【生涯学習課】 ○先人ギャラリー展 ・テーマ「イーハトーブの先人たち」 文化会館、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館 ●令和8年度の重点● ・開催館を4館とし、より幅広い世代に先人への興味を持ってもらい、各館に足を運ぶ契機となるような魅力的な展示を企画する。	①先人顕彰推進事業 【生涯学習課】 ◆令和9年度◆
		②宮沢賢治普及・啓発事業(宮沢賢治イーハトーブ館) 【宮沢賢治イーハトーブ館】 ○企画展 ①「Illustration & Poetry ひかるの世界」(令和7年4月1日～6月29日)入館者6,790人 ②「からくり木工&光と影の作品展」(7月1日～10月5日)入館者10,257人 ③「カイズケン イラスト作品展 宮沢賢治童話の世界」(10月7日～令和8年2月15日)入館者5,971人 ④ 第6回賢治さんの世界を描く絵画展(令和8年2月17日～4月12日)入館者3,502人 ○宮沢賢治普及・啓発(後進育成)事業 賢治研究の一助とした資料動画の作成	②宮沢賢治普及・啓発事業(宮沢賢治イーハトーブ館) 【宮沢賢治イーハトーブ館】 ○企画展 ①イーハトーブの光～鈴木摩耶子・ステンドグラス作品展～ 4月15日～6月15日 ②阿部正介 宮沢賢治童話の森写真展 6月17日～8月31日 ③宮沢賢治作品翻訳書籍展 9月2日～2月1日(予定) ④第7回賢治さんの世界を描く絵画展 2月3日～4月12日(予定) ○宮沢賢治普及・啓発(後進育成)事業 賢治研究の一助とした資料動画の作成 ○宮沢賢治生誕130年記念第5回国際研究大会(実行委員会)11月1日～3日	②宮沢賢治普及・啓発事業(宮沢賢治イーハトーブ館) 【宮沢賢治イーハトーブ館】
2. 先人の顕彰	(1) 郷土の先人に対する理解の促進			

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
		○セミナー等 ・企画展「Illustration & Poetry ひかるの世界」コラボレーションコンサート(6月15日、130人) ・夏季セミナー「賢治文学の奏でるうたーどこから来て、どこへ向かうのかー」(7月26日、参加者:85人) ・第34回宮沢賢治学会イーハトーブセンター研究発表(9月23日、参加者:104人) ・エクスカーション:「賢治と神楽」(9月23日、参加者:35人) ・研究イベント:「宮沢賢治で卒論・修論書いてみる?」(10月5日、参加者:18人) ・企画展「カイズケン イラスト作品展 宮沢賢治童話の世界」ギャラリートーク(令和8年2月7日、15人) ◆令和7年度のまとめ◆ ・セミナー等参加者については、令和6年度235人、令和7年度387人と増加した。企画展関連イベントの開催が好評であったことが要因と思われる。新たな愛好者・参加者の掘り起こしができるよう、宮沢賢治の普及啓発に努めていく。 ・企画展、セミナー等とも、おおむね計画どおりに開催することができ、イーハトーブ館の目的である、広く学術及び文化の発展に寄与した。	○セミナー等 ・夏季セミナー:テーマ「みんなでつくるボランの広場」(7月25日) ・研究発表会:(9月23日) ・研究イベント:「宮沢賢治で卒論・修論書いてみる?」(10月4日) ・「第7回賢治さんの世界を描く絵画展」ワークショップ(7月～8月予定) ○宮沢賢治生誕130年記念第5回国際研究大会11月1日～3日(再掲) ●令和8年度の重点● ・セミナー等の開催は、対面、オンラインを併用して多くの方が参加できる環境づくりに取り組み、イーハトーブ館の目的である、広く学術及び文化の発展に寄与する。 ・令和8年度の賢治生誕130年の節目に賢治並びに「賢治のまち花巻」を広く市内外に発信し、交流人口の拡大と賢治作品の普及につなげるため、実行委員会を組織し「宮沢賢治生誕130年記念第5回国際研究大会」を開催する。	◆令和9年度◆
			③宮沢賢治イーハトーブ館改修事業費 【宮沢賢治イーハトーブ館】 イーハトーブ館照明更新(LED化)業務 ●令和8年度の重点● ・宮沢賢治イーハトーブ館照明設備更新業務を実施する。	
			④企画展示事業 【新渡戸記念館】、【萬鉄五郎記念美術館】、【博物館】 【新渡戸記念館】 ○特別展・企画展 ①特別展「新渡戸氏が見た原風景 多田民雄展」 (6月14日～9月28日、来館者 3,259人) ②特別展「収蔵書画展」 (11月1日～12月14日、来館者 830人) ③特別展「雛人形展～花巻の春 桃の節句～」 (1月24日～4月3日、来館者 1,278人) ○教育普及事業 ①移動研修(盛岡市 もりおか歴史文化館) (11月7日、参加者 17人) ②開館記念行事「新渡戸フェスティバル」(10月18日、来場者 313人) ・郷土芸能(安野地域の神楽、地元子ども園園児による神楽と和太鼓) ・講演会「シドモア桜と新渡戸稲造」 講師 梅本 千晶 氏(シドモア桜の会横浜 代表理事) ・シドモア桜植樹式(ソメイヨシノ5本植樹) 寄贈者 シドモア桜の会横浜、NPO法人育桜会 ③新渡戸教室(実施なし) ◆令和7年度のまとめ◆ ・施設の非常用照明・誘導灯設備LED化作業のため、10/21・22の2日間の臨時休館はあったが、特別展・企画展、移動研修、開館記念行事を概ね予定どおりに実施することができた。 ・開館記念行事「新渡戸フェスティバル」では、新渡戸稲造博士と交流のあったシドモア女史を顕彰しているシドモア桜の会横浜からソメイヨシノの苗木5本の寄贈があり、矢沢小中学校の児童生徒の有志も参加し植樹を行った。 ・今年度はシニア大学や来館者団体からの要請により、館長講座・講話等は多少あったものの、市内小中学校の団体見学は1校もなかった。	④企画展示事業 【新渡戸記念館】、【萬鉄五郎記念美術館】、【博物館】 【新渡戸記念館】 ○特別展・企画展 ①特別展「新渡戸氏が見た後藤新平」(6月24日～9月23日) ②特別展「収蔵展」(11月11日～12月15日) ③特別展「雛人形展～花巻の春 桃の節句～」(1月27日～4月3日) ○教育普及事業 ①移動研修(新渡戸氏ゆかりの地を訪ねる)(11月) ②開館記念行事「新渡戸フェスティバル」(10月17日) ・郷土芸能と講演 ③新渡戸教室(随時) ●令和8年度の重点● ・引き続き団体見学もしくは出前教室の開催を市内小中学校へ働きかけるとともに、特別展及び教育普及事業の周知・広報の充実に努め、広く市民に花巻における新渡戸家並びに新渡戸稲造の魅力を発信する。 ◆令和9年度◆

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
		【萬鉄五郎記念美術館】 ①撮られた萬鉄五郎展（4月26日～7月13日 入館者2,864人） ②かいけつゾロリ大冒険展（7月26日～9月7日 入館者4,767人） ③20世紀アートセレクション展（9月20日～11月9日 入館者3,175人） ④収蔵品展杉本みゆき（2月21日～3月31日 入館者728人） ※令和7年11月10日～令和8年2月20日まで全館照明改修のため、休館 ◆令和7年度のまとめ◆ ・萬鉄五郎を顕彰する企画展や、家族や多くの子ども達に親しまれている「かいけつゾロリ大冒険展」、大川美術館の名品コレクションを中心とした「20世紀アートセレクション」を開催。萬鉄五郎のみならず様々な美術を紹介し好評を得た。 【博物館】 ①テーマ展「酒造りのわざ-南部杜氏の美酒をたどる-」（4月24日～6月22日 入館者数2,804人） ②テーマ展「戦後80年 戦争と花巻」（7月5日～8月24日 入館者数3,933人） ③特別展「佐川美術館コレクション 平山郁夫展」（9月6日～11月3日 入館者数6,435人） ④テーマ展「次世代へつなぐ花巻市の歴史-花巻市史編さんの取り組み-」（R8年1月31日～4月12日 入館者数2,237人） ◆令和7年度のまとめ◆ ・特別展「佐川美術館コレクション 平山郁夫展」は、平山氏がシルクロードを主題として描いた作品から、文化財保護活動に関連した作品を中心に展示し、大変好評をいただいた。関連事業では、当館の前館長や佐川美術館の学芸員から講演いただき、平山氏の造形美について触れた。また、「成島和紙」を使用して作られたランプシェードで、エントランス周辺や館内を夕暮れ時からライトアップした。さらに、9/6、13、20、27の各土曜日を午後6時まで開館延長した。 ・テーマ展「酒造りのわざ-南部杜氏の美酒をたどる-」は、「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、日本酒造りの一翼を担ってきた南部杜氏が当地方で誕生し、酒造文化の継承と杜氏集団としての活動を維持してきた歴史、酒造りにまつわる信仰や習俗について、酒造用具や秘伝書などの古文書類を通じて紹介した。 ・テーマ展「戦後80年 戦争と花巻」は、1931年の満州事変から1945年の敗戦までの15年間を中心に、花巻や周辺地域における戦争の経過を、当時の貴重な資料を通して紹介することができた。また、展覧会の図録を発行した。 ・テーマ展「次世代へつなぐ花巻市の歴史-花巻市史編さんの取り組み-」は、花巻の歴史を編む意味を考え、次世代へ花巻の歴史を繋げる意義について市民と共有することを目的とするため、市史編さん過程で明らかになったことを調査収集した資料とともに紹介した。 ・講座は、館長講座や学芸員講座などの博物館で開催する各種講座の他、市民の学習を支援する出前講座、小中学校での出前授業を開催した。 ・体験学習においても、花巻の工芸に関連した市民に親しみのある内容により実施した。 ・博物館の様々なイベント情報の発信は、広報やホームページ、SNSを活用した。	【萬鉄五郎記念美術館】 ①萬鉄五郎 千紫万紅（4月25日～6月28日 入館者2,968人） ②村上康成 絵本原画展（7月11日～9月13日） ③生誕130年宮沢賢治展（9月19日～12月6日） ④収蔵品展（令和9年2月27日～3月31日） ◆令和8年度の重点◆ 美術館が企画展示事業及び関連事業を展開し参加・鑑賞の機会を提供することで、芸術文化に関心や親しみを感じる市民を増加させるべく、萬鉄五郎・親子向け・花巻の美術家を紹介する展覧会を行い、バランスの取れた展示を目指す。 【博物館】 ①テーマ展「-博物館資料でめぐる- 植物デザイン展」（4月24日～6月14日） ②テーマ展「つくり、つたえる 花巻の工芸」（7月4日～8月30日） ③特別展「大正イマジユリィの世界」（9月12日～11月23日） ④テーマ展「花巻人形」（R9年1月30日～4月11日） ◆令和8年度の重点◆ ・テーマ展「-博物館資料でめぐる- 植物デザイン展」は、博物館の所蔵品の中から、植物モチーフの意匠とそこに込められた願いを紹介する。 ・テーマ展「つくり、つたえる 花巻の工芸」は、花巻の風土の中でつくり、伝えられてきた台焼、鍛冶町焼、成島和紙、花巻傘、ホームスパン、南部系こけしを中心に紹介する。 ・特別展「大正イマジユリィの世界」は、大正時代を中心に明治末から昭和初期までのブックデザインなどを紹介する。 ・テーマ展「花巻人形」は、内裏雛をはじめ信仰・縁起物、歴史上の人物、風俗、動物といった、さまざまな種類の人形を紹介する。 ・館長講座や学芸員講座などの博物館で開催する各種講座の他、市民の学習を支援する出前講座、小中学校での出前授業を開催する。 ・花巻の工芸に関連した市民に親しみのある内容の体験学習を実施する。	【萬鉄五郎記念美術館】 ◆令和9年度◆ 【博物館】 ◆令和9年度◆

<生涯学習に関連する事業>

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
1. 芸術文化活動の推進	(2) 芸術文化活動の支援	文化会館施設改修事業 【文化会館】 ○文化会館受変電設備及び照明改修工事【R7-8債務負担】 ・躯体受変電設備と館内照明器具のLED化にかかる改修 ○文化会館トイレ等改修工事【R7-8債務負担】 ○文化会館改修事業工事監理業務【R7-8債務負担】 ○文化会館大ホール特定天井対策工事実施設計 ・大ホール特定天井の安全対策に向けた工事の実施設計 ◆令和7年度のまとめ◆ ・老朽化した受変電設備や照明器具の改修工事について今年度予定されていた工事をすべて実施した。 ・トイレ洋式化等改修工事について今年度予定されていた工事をすべて実施した。 ・大ホール客席天井の安全対策に向けた設計を行った。	文化会館施設改修事業 【文化会館】 ○文化会館受変電設備及び照明改修工事 ・躯体受変電設備と館内照明器具のLED化にかかる改修 ○文化会館トイレ等改修工事 ○屋外排水設備改修業務 ・トイレ改修工事に併せ屋外排水設備の不具合も改修 ○文化会館改修事業工事監理業務 ○文化会館大ホール特定天井対策工事 ・大ホール特定天井の安全対策に向けた工事 ○自動火災報知設備改修工事実施設計 ○大階段・エレベーターホールカーペット更新 ◆令和8年度の重点◆ ・昨年度に引き続き、老朽化した受変電設備や照明器具の改修工事を実施する。 ・昨年度に引き続き、トイレ洋式化等改修工事を行う。 ・屋外排水設備の勾配の不具合を改修する。 ・大ホール客席天井の安全対策に向けた工事を行う。 ・耐用年数を超えた自動火災報知設備の更新改修に向けた実施設計を行う。 ・経年劣化したカーペットを更新する。	文化会館施設改修事業 【文化会館】 ◆令和9年度◆

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けたご意見等
2. 先人の顕彰	(1) 郷土の先人に対する理解の促進 (2) 賢治さんの香りあふれるまちづくりの推進	①賢治のまちづくり推進事業 【賢治まちづくり課】 ○賢治セミナー等講座の開催 ・はなまき賢治セミナー (親子編2回 受講者39人、一般編2回 受講者32人) ・「賢治の世界」セミナー(18回開催、受講者1,727人) ・「賢治の世界」ワークショップ(5回開催、参加者91人) ○宮沢賢治賞・イーハトーブ賞贈呈式 宮沢賢治賞1、宮沢賢治賞奨励賞2、イーハトーブ賞1(贈呈式9月22日) ○宮沢賢治記念館特別展 ※来館者数は実物公開期間中のみ ①「紫紺染について」令和7年2月22日(土)～5月25日(日)(来館者6,124人) ②「とっこべとら子」令和7年5月31日(土)～9月28日(日)(来館者16,866人) ③「よだかの星」令和7年10月4日(土)～令和8年2月15日(日)(来館者10,374人) ④「村童スケッチ」令和8年2月21日(土)～5月31日(日)(開催中) ○宮沢賢治創造芸術公演 劇団わらび座公演(令和7年7月20日 来場者721人) ○賢治フェスティバル ・童話村の森ライトアップ2025(7月19日～10月19日 来場者 27,612人) ※10月25日、10月26日は熊出没の懸念のため中止 ・イーハトーブフェスティバル2025(8月30日・8月31日 来場者 4,600人) ○賢治アートストリート 10基のオブジェに応募絵画作品を入れ替えながら展示(4月1日～令和8年3月31日) ○賢治イベントカレンダー 2025秋冬号 15,000部 8月発行、2026春夏号 19,000部 令和8年3月発行	①賢治のまちづくり推進事業 【賢治まちづくり課】 ○賢治セミナー等講座の開催 ・はなまき賢治セミナー (親子編2回、一般編2回) ・「賢治の世界」セミナー(30回開催) ・「賢治の世界」ワークショップ(5回開催) ○宮沢賢治賞・イーハトーブ賞贈呈式 (贈呈式9月22日) ○宮沢賢治記念館特別展 ①「村童スケッチ」令和8年2月21日(土)～5月31日(日) ②「猫とねずみのはなし」令和8年6月6日(土)～9月27日(日) ③「ゼロ弾きのはなし」【前期】令和8年10月3日(土)～令和9年2月14日(日) ④「ゼロ弾きのはなし」【後期】令和9年2月20日(土)～5月30日(日) ○宮沢賢治生誕130年記念事業 宮沢賢治記念館特別企画「賢治のチェロとトシのヴァイオリンで奏でる弦楽四重奏」令和9年3月6日(土) ○宮沢賢治創造芸術公演 賢治生誕130年記念 山形交響管弦楽団(令和9年2月20日(土)) ○賢治フェスティバル ・童話村の森ライトアップ2026(7月18日～10月31日) ・イーハトーブフェスティバル2026(8月22日・8月23日) ○賢治アートストリート 10基のオブジェに応募絵画作品を入れ替えながら展示(4月1日～令和9年3月31日) ○賢治イベントカレンダー 2026秋冬号 8月発行、2027春夏号 令和9年3月発行	①賢治のまちづくり推進事業 【賢治まちづくり課】
		◆令和7年度のまとめ◆ ・宮沢賢治関連のセミナー・ワークショップ・企画展等を実施するとともに、イベント開催等の情報収集・発信を行った。 ・童話村の森ライトアップ(賢治フェスティバル)において、野外ステージを活用したイベントの開催、期間中の様々な団体企画に協力するなど、ライトアップの魅力向上に努めた。 ・イーハトーブフェスティバル(賢治フェスティバル)において、野外ステージでのトークやライブ、映画上映等により賢治の持つ多面的な魅力に迫るステージイベントを開催した。また、昨年度に引き続き市芸術協会に所属する団体が出演する機会を設け、市民も参加するイベントとして実施した。	●令和8年度の重点● ・令和8年は宮沢賢治生誕130年であることから、これを記念し各種事業を行う。 ・宮沢賢治関連のセミナー・ワークショップ・企画展・イベント等を実施するとともに、情報収集・発信を行う。 ・童話村の森ライトアップ(賢治フェスティバル)において、野外ステージを活用したイベントの開催、期間中の様々な団体企画に協力するなど、ライトアップの魅力向上を図る。 ・イーハトーブフェスティバル(賢治フェスティバル)において、アーティストなどをゲストに迎え、野外ステージでのトークやライブ、映画上映等により賢治の持つ多面的な魅力に迫るステージイベントを開催する。	◆令和9年度◆
			②宮沢賢治童話村整備事業費 【賢治まちづくり課】 ○童話村リニューアル基本構想・基本計画策定 「賢治の学校」の長寿命化改修や展示替え、「賢治の教室」のウッドデッキやログハウスの処遇・活用方法、展示替えの必要性、さらには音響等園内設備の整備方針等を一体的・総合的に検討し、童話村全体のリニューアルの方向性を定める基本構想・基本計画を策定する。	
			●令和8年度の重点● ・プロポーザルにより委託業者を選定し、基本計画等を策定し、方向性を見出す。	

施策の領域	取り組み	令和7年度の主な事業報告	令和8年度の主な事業計画	令和9年度へ向けのご意見等
		②企画展示事業 【高村光太郎記念館】、【総合文化財センター】 【高村光太郎記念館】 【高村光太郎記念館】 ○高村光太郎花巻疎開80年企画展示事業 ①企画展「昔なつかし花巻駅」 (7月12日～11月30日 来館者数 4,202人) ②企画展「光太郎と賢治―宮沢賢治全集ができるまで―」 (12月13日～令和8年3月31日 来館者数 985名 関連講座「光太郎と賢治―宮沢賢治全集ができるまで―」 (2月21日 来場者数 205名) ○高村光太郎記念館寄贈品に関する特別展 ③特別展「中原綾子への手紙」 (4月26日～令和8年2月28日 来館者数 6,984名) ◆令和7年度のまとめ◆ ・令和7年は高村光太郎が花巻に疎開して80年となることから、高村光太郎が花巻に疎開するきっかけとなった宮沢賢治との関係を知る機会として「高村光太郎花巻疎開80年企画展示事業」を実施。 ・企画展「昔なつかし花巻駅」では昭和初期の花巻駅周辺をジオラマで再現し、高村光太郎や宮沢賢治の過ごした時代の情景を再現。 ・企画展「光太郎と賢治―宮沢賢治全集ができるまで―」では光太郎が携わった4つの宮沢賢治全集について紹介した。あわせて、関連イベントとしてトークショーを開催。 ・令和6年度に寄贈された書簡等64点についての特別展示を実施した。 ・来館アンケート結果も好評であった。 【総合文化財センター】 ①企画展1「山岳博物館とベルンドルフ」 (4月26日～7月6日 来館者 234人) ②企画展2「花巻城展―本丸御殿跡の発掘調査成果を中心に―」 (8月2日～10月13日 来館者 382人) ③企画展3「遺跡のモノがたり―大迫地域の遺跡―」 (11月15日～2月8日 来館者 99人) ◆令和7年度のまとめ◆ ・国際交流のシンボルであった山岳博物館と国際交流のあゆみについて、収蔵資料を中心に展示・紹介。身近な地域の歴史や文化に触れる機会を提供した。 ・花巻城跡の歴史や本丸御殿跡の発掘調査成果について、絵図などの画像資料と実物資料を交えて展示。文献資料では分らなかった御殿跡の高低差など調査によって明らかになった事柄を分かりやすく紹介した。 ・大迫地域の身近な遺跡や貴重な埋蔵文化財を紹介するほか、被災した埋蔵文化財とその後の復元を併せて紹介し、文化財を考える展示に工夫した。 ・入館者数は前年の2/3程度であったが、アンケート結果は概ね好評であり、来館者の満足度は高かった。 ・引き続き常設展示室に「早池峰の自然・文化・歴史・人」、「埋蔵文化財」の二つをテーマとした期間展示コーナーを設置し、年4回展示を行った。 ・文化財を楽しみながら学べるよう、従来の体験学習コーナーを継続して設置するほか、新規に和紙に関するワークショップを開催した。	③企画展示事業 【高村光太郎記念館】、【総合文化財センター】 【高村光太郎記念館】 【高村光太郎記念館】 ○高村光太郎企画展示事業 ①企画展及び関連講座「光太郎と岩手の芸術家」(仮) ◆令和8年度の重点◆ ・「企画展及び関連講座「光太郎と岩手の芸術家」(仮)では、光太郎と交流した岩手の芸術家について関連資料とともに紹介する。 ・来館するきっかけとなる企画を実施。 【総合文化財センター】 ①企画展1「早池峰・花の百名山―山博コレクションで楽しむ高山植物―」 (6月6日～8月23日) ②企画展2「早池峰神楽―研究史からたどる岳神楽と大償神楽―」 (9月19日～11月23日) ③企画展3「遺跡のモノがたり―花巻・石鳥谷遺跡の遺跡―」 (12月12日～2月14日) ◆令和8年度の重点◆ ・施設のテーマである「早池峰の自然・文化・歴史・人」、「埋蔵文化財」を中心とした企画展を引き続き開催。 ・「早池峰・花の百名山―山博コレクションで楽しむ高山植物―」では、早池峰山の高山植物をテーマに、写真や標本などを展示・紹介。 ・早池峰神楽が、国の重要無形民俗文化財となって50年を迎えることから、研究者の記録を基に、早池峰神楽の姿を紹介する企画展を開催。研究者の目に映り、感じ取った早池峰神楽の記録を関係資料から展示・紹介。 ・地域に注目した展示では、花巻・石鳥谷地域の遺跡を紹介する企画展を開催。 ・引き続き常設展示室に期間展示を設置するとともに、文化財を楽しみながら学べる体験学習コーナーを設置し、学習機会を提供。 ・文化財を楽しみながら学べるよう、新規に組紐ストラップを製作するワークショップを開催。	②企画展示事業 【高村光太郎記念館】、【総合文化財センター】 ◆令和9年度◆ 【総合文化財センター】 ◆令和9年度◆